

令和7年度 長崎市立深堀中学校 学力向上プラン

学校教育目標 「共に学び、高めあう、希望あふれる生徒の育成」
研究主題 「将来を見据えて主体的に学ぶ生徒の育成」 ～学力を支える5項目のもと、生徒の考える力の育成を目指して～

本校生徒の課題

全体

自分の考えや行動に自信を持てず、周りに合わせたり流されたりしやすい。

学力面

主体的に学び、自分の意見を発表することに苦手意識がある。

全職員で取り組むこと

<学力向上を支える5項目>

- ①机（上中横）とロッカーの整理整頓
- ②3分前着席・2分前学習の徹底
- ③あいさつ、返事、反応を元気よく
- ④顔を上げて、良い姿勢で授業に集中
- ⑤自分の考えを持ち、伝える

- ☐ 3分前には教室に行き、生徒とのコミュニケーションを図る。
- ☐ 整理整頓や学習準備を徹底する。
- ☐ 授業の中で、生徒同士の対話の時間を確保する。
- ☐ わかる授業を目指す。

各教科で取り組むこと

主体性を育てる

国語	単元教材の到達目標を示し、学習過程の見通しをもたせる。
社会	本時の流れを掲示し、視覚化できる資料活用を行う。
数学	数学的活動の楽しさや数学の良さを伝える工夫をする。学習における成功体験を増やす。
理科	単元導入から本時の流れまで「なるほどそうか」とわかる授業運営をする。
音楽	本時の目標を明確にし、視覚的な情報を重視した資料の提供に努める。
保体	本時の目標に対する自らの課題を意識して活動させる。
美術	準備品を学校でできるだけ用意し、十分に活動できるようにする。
技術	生徒が活動に入るまでに教員が話す時間を最低限（3分以内）に収める。
家庭	本時の課題を提示し、発問して意見をつぶやかせる。
英語	本時のめあてを提示しクラス全員が理解できるよう知識を共有できる時間をとる。

考える力を育てる

最初は自分で考え、小グループで意見交流を経て、全体発表や文章表現活動で思考力向上を図る。
重要語句を自分の言葉で説明する機会を増やす。
単元や時間の中で、生徒が考える場面と教員が教える場面の組み立てを工夫する。
課題に対して自分の考えを書き、討論する場面を設定し、実験等で確かなものとする。
教科書の読み取り機能（QRコード）を利用（クロームブックの活用）して、個人の活動を増やす。
周りからのアドバイスや動画などを参考にし、課題解決のポイントを意識させる。
用具の準備と技法を指導し、具体的な作品例を示し、創造させる。
オープンクエスチョンを意識して、発問を考える。
自己評価を生かし、自分の意見をまとめる。
ICTや教科書等を参考に、生徒自らで考え、課題解決を目指す。